

組合員数116,521人
支部数 931
読者数 70,433人
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

(5日現在)



第331号 2017年7月15日(土)

(通巻第530号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 富田 浩康 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

年金裁判と結んで 若い人も安心できる 年金制度を

全日本年金者組合 第23回大会開く



全日本年金者組合は6月22、23両日、静岡県伊東市の「ホテル聚楽」で、第23回定期大会を240人の出席で開催しました。安倍政権による年金カット、医療・介護などの大幅負担増による暮らし破壊、戦争法、共謀罪の強行という情勢に負けました。

結成30周年となる次の大会まで 14万人の組織めざす 新委員長に金子民夫氏



大会は議長に岩崎勇さん(千葉)、渡辺博子さん(愛知)、小島淳子さん(京都)を選出し、大会諸役員を確認して議事に

2年間でし た。組織的に は中心活動家の 高齢化が進み、仲間つくりの伸び悩みが見受けられますが、各支部、県本部の運動を見据えた発言で確固たる方針を決定し、新たな運動にふみ出しましょう。次いで、来賓の岩橋祐治全労連副議長、高橋千鶴子衆議院議員からあいさつ、加藤健次全国弁護団共同代表からミニ講演を受けました。

新方針 満場一致で採択

▲新方針を決定し、元気がよくガンバロウを三唱する代議員ら
▶就任あいさつする金子民夫新委員長

まず富田浩康委員長が入りました。前大会からの2年間はファシズムへの暴走と真っ向から対峙し自由と民主主義を守ろうとする大きな共同の運動の

◆金子新委員長のあいさつ◆

大変な情勢の下で委員長になったという思いはありますが、情勢は日替わりで動いています。加計問題、森友問題 経験生かし前進しよう 針を全力で実行していきま

2016年度決算・会計監査報告、2017年度各会計予算案については質疑なく、満場の拍手で承認、採択しました。全労連共済年金者支部決算・予算・役員についても報告を受けました。

中央役員選挙は、金子民夫委員長、田中諭書記長をはじめとする新中央役員を選出し、3人の顧問委嘱を承認し、大会宣言案を拍手で採択し、議事を終了しました。

退任役員あいさつを受け、金子新委員長が挨拶(別掲)し、「団結がんばろう」で第23回大会は幕を閉じました。(大会関連記事2~5面に)



第23回 大会は歴史に残る大会。熱心な討議の後の採決は満場一致。2000年の第12回大会以降中央本部にいたが、この全員一致は嬉しい。年金裁判に約5千人余、年金一揆を行い、署名を山のごとく積み上げ請願運動をし、仲間増やしの団結強化が教訓か。大会成功と全組合員の方針討議参加が力と、議案作成にかつてなく力を入れてみた。議案を早く届けようと支部に初めて直送。議案の字型を大きくし、2色の一面に。文化・レク第一の運動を表現、写真を多くなど知恵を集めた。大会での発言は表現の違いはあるが、全部経験と教訓に富んでいた。到達点に差はあるが、努力は千金の値。「知は力」「学んだ集団は強い」「手引きがためになる」との発言 ●要求実現と仲間づくりを成功させる取り組みは、組織が総力を挙げてこそ。この努力が如何の結果を決めるとは法則か。毎月減らず前進したとの発言が耳に残った。(三)

年金カット法の施行を許さず 安倍政権を退陣へ

日本共産党衆議院議員 高橋千鶴子



表し連帯のあいさつをおくります。

全日本年金者組合定期大会おめでとうございませう。趣味やレクリエーションで楽しみながら仲間を増やし、年金制度の拡充と平和・暮らしを守る国民共同の闘いでも先頭に立って奮闘されている皆さんに、心から敬意を表します。審議の打ち切りで成

立させて、あまりにも拙速な施行です。絶対に許してはなりません。

さて、年金者組合の皆さんに直接関係のある年金カット法。来年からその一部が施行され、キャリアオーバーの制度が始まります。それだけなら全く上がらないが下がることはない。しかし、来年から一斉に介護保険料や後期高齢者医療の保険料が値上げされるので実質、手取り額は減っていきます。カット法が施行される前に安倍政権を退陣に追い込みましょう。そのために皆さんと一緒に頑張る決意です。

14万人組織の実現で全労連を支える存在に

全労連副議長 岩橋 祐治



まず、みなさんが組織的に増勢の下で本大会を迎えられたことに心より敬意を表します。次の大会までに14万人をめざすということですが、そうなるのは全労連でも日本医労連、自治労連と並ぶ大きな組織となります。ど

うか全労連を支えて引っ張っていたたく存在として発展していただくこと心から期待し、お願いしたいと思えます。

さて、労働者、年金者・高齢者をめぐる情勢ですが、安倍内閣・自公連立政権の憲法破壊・国民生活破壊の大暴走がいつそう加速してきています。憲法改悪を実現して、2020年にはそれを施行するとまで言い出す始末です。来年2018年

12月までには総選挙があり、再来年2019年7月には参議院選挙があります。憲法と平和、日本の未来と国民のいのちとくらしがかかった、まさに歴史的な政治戦です。必ず自公を少数派に追い込み、安倍内閣を打倒しようではありませんか！

衆議院いざつ(要旨)

講演 二

裁判を通して年金者組合が社会的な注目を集める



年金裁判全国弁護団共同代表

加藤 健次

年金裁判は5千人近い原告が全国で争う日本最大の社会保障闘争になりました。政府の年金削減に怒りの声を上げ、訴訟を門前払いさせることなく、法廷で国に年金削減をなせ行ったのかを説明させ、私たちの主張もしていくという段階に入りました。その中で年金者組合も社会的な注目を集

め、なくてはならない存在になったという点では、裁判は、まず最初の目的を達成しました。法廷での主な論点は、第一に憲法13条、25条、29条など年金受給権をめぐる憲法論議を深めていきます。

第二に社会保障水準を後退させるときは、その正当性を国が立証しなければならぬという国際基準についてです。年金特例水準の削減はわずか

1日の審議しかされませんでした。国家破綻がいわれたギリシャの年金削減も欧州人権委員会は、ギリシャ年金組合の訴え「削減は人権侵害である」との判断を下しています。

第三に政策論です。国は年金積立金至上主義で特例水準の削減は積立金を減らさないため、マクロ経済スライドは年金制度を維持するためであり、人間らしい生活を維持できる年金であるかについては全く関心がないのです。

今年後半からは、どのような証人を出して国と論争していくかが焦点になります。現役世代、若者からも証人にでてもらい、今の受給者が年金をもらいすぎて次の世代の分がなくなるという国の主張を打ち破っていくことが重要です。また、原告一人一人が陳述を書き、顔を見せることが重要です。最後に年金裁判は一つの運動であり、むずかしい裁判ですが、政治が劣化する今の時代に、司法が「国会におまかせ」でいいのかわ、本心に憲法を守るのかをつきつける闘いでもあります。

第23回定期大会宣言

安倍内閣は加計・森友疑惑に蓋をし、すべての市民を監視する「共謀罪」法案を異常な議会運営で強行しました。社会保障改悪や働き方「改革」、消費税増税などで市民の負担を強め、大企業の内部留保は400兆円を超え、格差と貧困が拡大しています。

平和を求める圧倒的な国民の声をしり目に北朝鮮の挑発を使って、不安を掻き立て、軍事産業の育成と自衛隊の合法化、憲法9条をなきものとする動きを強めています。

沖縄での民意無視、民主主義否定、アメリカ服従の基地建設など、憲法改悪の策動と相まって、日本の軍国化を共謀罪法、秘密保護法、安保法制の3点セットで国民を縛り、進めようとしています。

こうした安倍政治の暴走に対峙し、市民と野党4党は結束して運動を広げ、「共謀罪」法の発動を阻止し、選挙協力を広げ、安倍退陣への運動を強めており、世論調査でも80%が今国会での「共謀罪」法の成立は不要、内閣支持率も12%の下落を報じており、モリ・カケ疑惑では内部告発もあり再調査で文書の存在を認めさせるなど国民の反撃が始まっています。

第23回大会は緊迫した情勢をふまえ、2大運動3課題(要求運動と組織建設、新署名を広げ、違憲訴訟勝利に加え仲間づくり)を総合的に推進する取り組みを討議しました。「若い人も高齢者も安心できる年金制度」すなわち「最低保障年金制度」を求め、74.6万筆を超えた100万年金署名に続き、新署名も4.8万筆と取り組みが進んでいます。政府の年金削減の違憲性を明確にする年金裁判は44都道府県本部で4799人の原告の大運動に発展し、支援者を広げる運動と結んで、「若い人も高齢者も安心できる年金制度」へ国民的運動に発展させることを決定しました。

「総合6カ年計画」は最終年に突入し半年が過ぎました。春の仲間づくり月間では12万人の年金者組合を目指し5000人増の目標に挑みましたが、実増1000人と大きく立ち遅れています。要求運動で実現したさまざまな成果を生かし切り、他団体・個人への働きかけを思い切って広げ・強め、全組合員の知恵と力に依拠し、目標達成に執念を持って、仲間づくりに果敢に挑んで達成するよう心をつにしました。

「仲間づくり月間」は残り1週間、飛躍は可能です。組織の総力を挙げて奮闘します。

さらに、本日告示の都議会議員選挙、予想される総選挙で勝利し、安倍暴走内閣を退陣に追い込む運動を行います。そのためにも立憲野党と市民の共同を強め、広げた仲間にも働きかけ、「仲間づくり」の運動に展望を切り開く取り組みを強めます。

以上宣言します。

2017年6月23日

全日本年金者組合第23回定期大会

運動の輪を広げ年金裁判勝利へ

全原告が書く「陳述書」 一番の証拠であり有効



東京・岡村正人

728人のすべての原告が「陳述書」を書き上げようと、20人の弁護士団の協力を得て支部ごとに取り組んできました。昨年9月には2人の弁護士

を講師に、「陳述書」の持つ意味を詳しく説明していただきました。そこでは原告の生きざまとしての「陳述書」が一番の証拠であり有効であると繰り返し強調されました。

ちんと分けて書くこと、事実の裏づけのない意見は避けることでした。こうして昨年11月末には250通あまり集まりましたが、さらに支部に奮起を呼びかけ、原告幹事を開いて「とどろけ、心の叫び」を読んだ

外に向かったの宣伝重視
大規模の報告集会を必ず

外に向かったの宣伝重視 大規模の報告集会を必ず



大阪・長坂民雄

第1次(特例解消)は30人の原告が、第2次(マクロ経済)は103人の原告が提訴し、これまで7回の裁判が行われました。次回から合同審理することになっていま

府本部執行部と弁護士団の合同会議を2カ月に1回行い、年金学習も重視して、府本部で独自のパ

府本部執行部と弁護士団の合同会議を2カ月に1回行い、年金学習も重視して、府本部で独自のパ

府本部執行部と弁護士団の合同会議を2カ月に1回行い、年金学習も重視して、府本部で独自のパ

府本部執行部と弁護士団の合同会議を2カ月に1回行い、年金学習も重視して、府本部で独自のパ



岐阜・鈴木敏史

判所前の宣伝、大法廷を埋めつくす原告・傍聴者の確保、裁判終了後は150人規模の報告集会を必ず行っています。

1次訴訟(特例解消)173人、2次訴訟(マクロ経済)353人の原告が提訴しています。昨年8月、二つの訴訟につ

「マクロ経済スライドを適用」するために「特例水準を早期に解消することが必要とされた」という被告側の論点が今後どう変化するか注目され

「マクロ経済スライドを適用」するために「特例水準を早期に解消することが必要とされた」という被告側の論点が今後どう変化するか注目され

高齢者の実態を把握し 行政への要求活動へ



富田浩康委員長

判長提案の「同一日に両審査を」を受けて二つの訴訟が並行して進んでいます。今日まで5回の口頭弁論を行いました。

原告の一人ひとりが必要に応じて「陳述書」をまとめる取り組みを進めています。運動のすそ野を広げるには、高齢者の生活実態を把握し行政・地方議会への要求活動のエネルギーにしていくなか、年金問題と裁判の学習会を大いにやって支援者・裁判傍聴者を増やす必要があると思います。

退任役員

- 富田浩康委員長
- 松井幹治副委員長
- 高山由孝書記次長
- 一戸義規中執
- 近藤 勲中執
- 田中寛治中執
- 辻井良和中執
- 野口 要中執
- 松澤秀紀中執
- 丸野武人中執
- 米谷寛治中執

大会で選出された 中央役員

- 中央執行委員長 金子 民夫 (東京・新)
- 副中央執行委員長 宇佐美 忠利 (埼玉・再)
- 副中央執行委員長 大石 武夫 (千葉・再)
- 副中央執行委員長 加藤 益雄 (埼玉・新)
- 副中央執行委員長 加納 忠 (大阪・新)
- 副中央執行委員長 杉山 文一 (東京・再)
- 副中央執行委員長 田島 茂 (神奈川・再)
- 副中央執行委員長 茶谷 寛信 (愛知・再)
- 副中央執行委員長 土志田 公佳 (神奈川・再)
- 副中央執行委員長 馬場 目トミ子 (千葉・再)
- 副中央執行委員長 三上 利栄 (神奈川・再)
- 書記次長 田中 諭 (埼玉・新)
- 書記次長 大寿 美幸子 (東京・新)
- 書記次長 大場 悦子 (埼玉・再)
- 書記次長 菅原 明 (埼玉・新)
- 書記次長 富家 靖子 (埼玉・再)
- 書記次長 安斎 通 (福島・再)
- 書記次長 飯島 明子 (神奈川・再)
- 書記次長 飯野 豊秋 (埼玉・再)
- 書記次長 岡村 雄馬 (静岡・新)
- 書記次長 岡本 毅一 (兵庫・再)
- 書記次長 北野 春男 (石川・新)
- 書記次長 国枝 芳行 (千葉・新)
- 中央執行委員 五島 享 (熊本・再)
- 中央執行委員 紺谷 明史 (北海道・再)
- 中央執行委員 田中 金春 (香川・新)
- 中央執行委員 田村 照代 (群馬・新)
- 中央執行委員 塚田 信弘 (広島・新)
- 中央執行委員 津守 廣子 (大阪・新)
- 中央執行委員 橋本 孝一 (新潟・新)
- 中央執行委員 藤田 孝一 (東京・再)
- 中央執行委員 藤巻 恵子 (東京・再)
- 中央執行委員 増子 啓三 (東京・再)
- 中央執行委員 松原 光男 (鳥取・再)
- 中央執行委員 三浦 久 (千葉・再)
- 中央執行委員 峰野 康子 (愛知・再)
- 中央執行委員 宮嶋 博美 (神奈川・再)
- 中央執行委員 向井 光也 (千葉・再)
- 中央執行委員 渡部 雅子 (秋田・再)
- 中央執行委員 生澤 雅也 (埼玉・再)
- 中央執行委員 田端 三男 (埼玉・再)
- 中央執行委員 山田 恵二 (東京・再)
- 中央執行委員 森 信幸 (神奈川・再)
- 中央執行委員 篠塚 浩助 (東京・再)
- 中央執行委員 富田 浩康 (東京・再)



報告を熱心に聞く代議員

大会代議員の発言から

裁判運動をすすめるために、街頭宣伝や署名行動、マスコミ対策、「年金110番」、若者との共闘、年金一揆との結合など外に向かったの取り組みを重視してきました。

大会での発言者

(発言順・敬称略)

- | | |
|-------------|-------------|
| 稲葉 正美 (新潟) | 千代谷邦弘 (青森) |
| 伍 淑子 (神奈川) | 岩原 和子 (石川) |
| 重松 隆 (佐賀) | 加藤瑠美子 (愛知) |
| 吉田 務 (沖縄) | 木村 静恵 (埼玉) |
| 毛利 光男 (岡山) | 牧 忠孝 (福岡) |
| 小澤 満吉 (東京) | 山添 善明 (京都) |
| 片岡 博明 (滋賀) | 近澤 重男 (茨城) |
| 木村 弘和 (群馬) | 松田 文雄 (徳島) |
| 吉田 靖 (京都) | 菅原 章子 (北海道) |
| 鴨志田 強 (茨城) | 安藤美和子 (新潟) |
| 赤嶺 典子 (沖縄) | 橋本 廣子 (大阪) |
| 隣 正博 (千葉) | 畑山 佳代 (高知) |
| 関根 敏克 (兵庫) | 平田 仁 (群馬) |
| 西本 信一 (奈良) | |
| 久保 雅之 (鹿児島) | |
| 佐藤 征司 (福島) | |
| 岡村 雄馬 (静岡) | |
| 芳賀 芳昭 (宮城) | |
| 織部 巖 (大阪) | |
| 中谷 吉治 (和歌山) | |
| 上地 源光 (新潟) | |
| 岡村 正人 (東京) | |
| 杉沢 隆宣 (神奈川) | |
| 山下 玉枝 (愛知) | |
| 長坂 民雄 (大阪) | |
| 山本 昭義 (鳥取) | |
| 山田 和民 (山梨) | |
| 鈴木 敏史 (岐阜) | |

文書発言

- 宮野 賢一 (宮城)
- 大内 英明 (福島)
- 治田 孝三 (福島)
- 野口 洋子 (東京)
- 堀越 昭男 (東京)
- 田中 久雄 (神奈川)
- 梅北 政義 (愛知)
- 一塚 正紘 (大阪)
- 竹森 賢次 (山口)
- 平尾 周二 (長崎)

(合計51人)

顧問

- 中央執行委員 五島 享 (熊本・再)
- 中央執行委員 紺谷 明史 (北海道・再)
- 中央執行委員 田中 金春 (香川・新)
- 中央執行委員 田村 照代 (群馬・新)
- 中央執行委員 塚田 信弘 (広島・新)
- 中央執行委員 津守 廣子 (大阪・新)
- 中央執行委員 橋本 孝一 (新潟・新)
- 中央執行委員 藤田 孝一 (東京・再)
- 中央執行委員 藤巻 恵子 (東京・再)
- 中央執行委員 増子 啓三 (東京・再)
- 中央執行委員 松原 光男 (鳥取・再)
- 中央執行委員 三浦 久 (千葉・再)
- 中央執行委員 峰野 康子 (愛知・再)
- 中央執行委員 宮嶋 博美 (神奈川・再)
- 中央執行委員 向井 光也 (千葉・再)
- 中央執行委員 渡部 雅子 (秋田・再)
- 中央執行委員 生澤 雅也 (埼玉・再)
- 中央執行委員 田端 三男 (埼玉・再)
- 中央執行委員 山田 恵二 (東京・再)
- 中央執行委員 森 信幸 (神奈川・再)
- 中央執行委員 篠塚 浩助 (東京・再)
- 中央執行委員 富田 浩康 (東京・再)

大会代議員の発言から

署名と仲間づくり結び 地域の年金要求束ねる



宮城・芳賀 芳昭
宮城県では6カ年計画で組合員を約5倍に、100万署名では1人12・5筆と、前進させることができました。この仲間づくりと署名は密接に関連していると思います。請願署名は全ての組合員

部では常に対象者をあげ、拡大行動日を設定して進めました。署名も具体的な段取りと全組合員への提起を繰り返し行ってきました。

がんばっている支部の 教訓を学び目標達成へ



宮城・芳賀 芳昭
この相互関係は自然に構築されるわけではなく、それぞれ独自の「一定の追求」が必要です。仲間づくりでは対象者を広く具体的にあげ、加入を勧める行動を組織することが鍵といえます。6カ年計画を達成した泉支

部では常に対象者をあげ、拡大行動日を設定して進めました。署名も具体的な段取りと全組合員への提起を繰り返し行ってきました。

群馬・木村 弘和
春の月間については、支部の自主目標110

20万人目標では中間の目標と当面の目標の3段階の設定をすることが必要ではないでしょうか。宮城県は高齢者の1%の4千人を6カ年計画にしました。しかし進展はななく中間目標として2千人が議論され、目標変更を

全支部に女性部を追求 県本部の後押しに期待



大阪・橋本 廣子
「女性部の元気は支部

23000という目標は昨年春の月間で掲げた数字ですが達成ならず、秋の月間でも3桁を超える仲間を増やしなからかならず、3度目の挑戦となり。2000人達成を目指し背水の陣で臨んだ時と同じように、2度目の全支部成果を目指し、初の月間達成に力を注ぐ決意です。

「全支部に女性部を」は牛歩のごとくですが、確信をもって参加する女性が増え、励まし合いながら拡大にも力を発揮して進みだしました。

「生涯現役」と位置づけ、低賃金労働者・非雇用型労働者として活用する動きにも着目すべきです。

掲載されるなど、うれし出来事がありました。女性部は、一般には夫を職場に送り出し、子どもを育てて所帯を持たせ、孫守りもして高齢に一人になった高齢女性の居場所づくり、支部女性部の結成に、支部・都道府県本部あがりの後押しをお願いします。

改悪すすむ医療・介護 組合も運動を強めよう



神奈川・伍 淑子

高年齢者を取り巻く政府の政策を全面的にとらえる必要があり。内閣府の直近の骨太方針「経済財政運営と改革の基本方針2017(仮題)」の中で重点課題として、「働き方改革と人材投資を通じた生涯現役社会の実現」を掲げています。

今年から来年にかけて団塊世代が70歳以上になっていきます。来年は診療報酬と介護報酬の改定が予定されています。これらに対する要求を年金者組合としてもまとめ、社保協との共同を強め、運動の具体化を急ぐ必要があると思います。

次に、年金の切り下げをする一方で、高齢者を

年金問題や国保料引き下げで自治体に要請行動



徳島・松田 文雄

「生涯現役」と位置づけ、低賃金労働者・非雇用型労働者として活用する動きにも着目すべきです。

高年齢労働者を労働組合に結集する課題と方策についても検討する必要があります。

辺野古新基地に反対し ねばり強く闘い続ける



沖縄・赤嶺 典子

沖縄県本部の4番目の支部として3月26日に新たに誕生した豊見城支部から来ました。

今、沖縄の最大の課題は辺野古新基地建設を止める闘いです。基地建設をやめさせるため県内各地で島ぐるみ会議が設定

されています。私たち豊見城支部も豊見城島ぐるみ会議に加盟し、毎週水曜日と第2、第4週に辺野古のキャンプシユワブゲート前の座り込み闘争に参加しています。

明日6月23日は72年前、沖縄戦が終結したとされる沖縄慰霊の日です。戦没者の霊を慰め平和を祈念する日として沖縄だけの休日です。県内各地の慰霊塔で慰霊祭が行われ、正午からは糸満市摩文仁で沖縄全戦没者追悼式も行われます。

沖縄にとっての慰霊は米軍基地全面撤去です。新基地建設ではありません。沖縄の年金者組合は、新基地建設反対の闘いをねばり強く続け、頑張っています。



各地の代議員の報告に耳を傾け、メモをとる代議員ら

高年齢者にとって医療や介護は避けて通れない共

次に、年金の切り下げをする一方で、高齢者を

「いのちを守る」たたか

決意です。

機関紙コンクール審査結果

◎都道府県本部の部

最優秀賞(1点)

神奈川県本部「年金者しんぶん神奈川県版」

優秀賞(5点)

- 北海道本部「道年金者組合ニュース」
- 福島県本部「年金者しんぶん福島」
- 埼玉県本部「ねんきん埼玉」
- 大阪府本部「年金者しんぶん大阪」
- 兵庫県本部「兵庫年金者組合」

入賞(5点)

- 東京都本部「年金東京ニュース」
- 新潟県本部「新潟年金者しんぶん」
- 京都府本部「京都年金者しんぶん」
- 和歌山県本部「和歌山年金者組合」
- 佐賀県本部「さが年金者組合ニュース」

努力賞(5点)

- 宮城県本部「全日本年金者組合みやぎ」
- 秋田県本部「年金者しんぶん秋田版」
- 千葉県本部「年金者のひろば」
- 滋賀県本部「年金滋賀」
- 福岡県本部「年金ふくおか」

◎都道府県女性部の部

優秀賞(1点)

京都府本部「女性の会だより」

入賞(1点)

秋田県本部雑木ばやし」

努力賞(1点)

新潟県本部「女性部ニュース」

◎支部の部

最優秀賞(2点)

- 茨城・つくば支部「つくばの虹」
- 東京・江東支部「ねんきん江東」

優秀賞(10点)

- 北海道・札幌中央支部「年金者組合ニュース」
- 宮城・泉支部「年金いずみ」
- 秋田・秋田市支部「きずな」
- 埼玉・富士見支部「ねんきん富士見」
- 千葉・成田支部「成田年金者」
- 神奈川・戸塚支部「ねんきんとつつか」
- 東京・荒川支部「荒川支部ニュース」
- 長野・松筑支部「かがやき」
- 愛知・名古屋緑支部「緑支部にゅーす」
- 愛知・尾張・旭支部「尾張・旭年金者ニュース」

入賞(12点)

- 青森・三八支部「三八支部ニュース」
- 岩手・一関支部「一関支部ニュース」
- 福島・福島支部「福島支部機関紙」
- 栃木・西那須野支部「しもつけ水仙会通信」
- 東京・杉並支部「すぎなみ」
- 東京・多摩支部「年金しんぶん多摩」
- 東京・八王子支部「年金者八王子」
- 神奈川・港南支部「港南支部ニュース」
- 石川・金沢支部「かなざわ支部だより」
- 京都・丹後支部「たんご」
- 大阪・高槻支部「年金者たかつき」
- 長崎・大村支部「大村年金者しんぶん」

努力賞(14点)

- 北海道・音更支部「ねんきんオトブケ」
- 宮城・太白支部「年金太白通信」
- 秋田・大館支部「ねここちこ」
- 山形・米沢支部「年金よねざわ」
- 群馬・伊勢崎支部「年金者しんぶん いせさき」
- 千葉・安房支部「安房年金者組合ニュース」
- 神奈川・相模原支部連絡会「年金の仲間」
- 岐阜・多治見支部「多治見支部だより」
- 大阪・茨木支部「ねんきん茨木」
- 兵庫・但馬支部「ねんきん但馬」
- 和歌山・紀ノ川支部「年金紀の川」
- 広島・安佐南支部「年金者しんぶん」
- 愛媛・新居浜支部「えがお」
- 福岡・福岡東支部「年金ひがし」

◎支部女性の会

優秀賞(1点)

札幌女性の会「かたくり」

入賞(1点)

神奈川・平塚支部「月刊しゃぼん玉」

努力賞(1点)

神奈川・茅ヶ崎支部「花ぐるま」

《機関紙コンクールの応募状況と各賞の部門別内訳》

	応募総数	最優秀賞	優秀賞	入賞	努力賞
都道府県本部	26	1	5	5	5
同 女性部	5		1	1	1
支部	128	2	10	12	14
同 女性部	9		1	1	1
同 分会	1				
合計	169	3	17	19	21



顕彰基準を3項目以上達成した県本部を特別表彰

第23回大会の署名・組織活動について、次のように顕彰しました。

組合員拡大率(30人以上実増)

①京都、②千葉、③茨城、④宮城、⑤和歌山、⑥滋賀、⑦鹿児島、⑧群馬、⑨鹿兒島、⑩群馬、⑪宮城、⑫滋賀、⑬群馬、⑭鹿兒島、⑮群馬、⑯宮城、⑰滋賀、⑱群馬、⑲鹿兒島、⑳群馬、㉑宮城、㉒滋賀、㉓群馬、㉔鹿兒島、㉕群馬、㉖宮城、㉗滋賀、㉘群馬、㉙鹿兒島、㉚群馬、㉛宮城、㉜滋賀、㉝群馬、㉞鹿兒島、㉟群馬、㊱宮城、㊲滋賀、㊳群馬、㊴鹿兒島、㊵群馬、㊶宮城、㊷滋賀、㊸群馬、㊹鹿兒島、㊺群馬、㊻宮城、㊼滋賀、㊽群馬、㊾鹿兒島、㊿群馬

「年金しんぶん」拡大率(103%以上)

①宮城、②沖繩、③群馬、④滋賀、⑤和歌山、⑥岡山、⑦広島、⑧鹿児島

年金署名数(1人当たり10筆以上)

①大分、②宮城、③長崎、④鹿児島、⑤青森、⑥茨城、⑦和歌山、⑧岡山

特別顕彰(3項目以上顕彰基準達成した県)

宮城、和歌山(5項目)、鹿児島(4項目)、群馬、茨城、滋賀(3項目)。

仲間づくりなどで 顕彰された 都道府県本部

第23回大会の署名・組織活動について、次のように顕彰しました。

組合員拡大率(30人以上実増)

①京都、②千葉、③茨城、④宮城、⑤和歌山、⑥滋賀、⑦鹿児島、⑧群馬、⑨鹿兒島、⑩群馬、⑪宮城、⑫滋賀、⑬群馬、⑭鹿兒島、⑮群馬、⑯宮城、⑰滋賀、⑱群馬、⑲鹿兒島、⑳群馬、㉑宮城、㉒滋賀、㉓群馬、㉔鹿兒島、㉕群馬、㉖宮城、㉗滋賀、㉘群馬、㉙鹿兒島、㉚群馬、㉛宮城、㉜滋賀、㉝群馬、㉞鹿兒島、㉟群馬、㊱宮城、㊲滋賀、㊳群馬、㊴鹿兒島、㊵群馬、㊶宮城、㊷滋賀、㊸群馬、㊹鹿兒島、㊺群馬、㊻宮城、㊼滋賀、㊽群馬、㊾鹿兒島、㊿群馬

「年金しんぶん」拡大率(103%以上)

①宮城、②沖繩、③群馬、④滋賀、⑤和歌山、⑥岡山、⑦広島、⑧鹿児島

年金署名数(1人当たり10筆以上)

①大分、②宮城、③長崎、④鹿児島、⑤青森、⑥茨城、⑦和歌山、⑧岡山

特別顕彰(3項目以上顕彰基準達成した県)

宮城、和歌山(5項目)、鹿児島(4項目)、群馬、茨城、滋賀(3項目)。

第28回機関紙コンクール講評

激動する情勢とらえる

機関紙が組織活動の中心に

今年、森友問題、加計学園問題、共謀罪など激動の情勢を反映して政治課題が目立ちました。特に共謀罪では、月刊というハンディがありながらも果敢に報道していることは高く評価をします。同時に、仲間増やし、年金裁判などの課題も離さず、組織活動の中心に機関紙を置いていることも感心しました。

今年も支部活動が活発な大規模都道府県本部機関紙は詳細な取り組みは支部機関紙に委ね、全体



表彰状をかざす機関紙コンクール入賞者

も大事な企画です。兵庫も仲間増やしに力を割いた誌面です。いずれも文芸欄が充実しているのも特徴でした。この6誌の最大の特色は、個々の組合員の人生を切り口を交えながら伝えている事だと思えます。

女性部優秀賞は京都府本部。連載の「認知症の日々」は身につまされました。入賞は秋田県本部。女性の会の活動がていねいに伝えられ、楽しさが伝わります。

写真説明文つけ情報量増やそう

支部機関紙の最優秀賞は2紙。『つくばの虹』はしっかりとしたレイアウトで組合員の紹介やお知らせが見やすく、読みやすい紙面です。『ねんきん江東』はカラー印刷で見応えのある、構成がきちんとした紙面に感じました。季節感を出したミニ特集がよい。どちらも組合員の声で紙面をつくりあげている典型的な支部機関紙です。

支部女性の会の部では優秀賞に『かたくり』。支部の垣根を越えた札幌全体の女性の会機関紙で、各支部・地域の活動がお手紙のように紹介されています。入賞の『月刊しゃぼん玉』は珍しくなった手書き新聞です。見出しレタリングが心を込めて書いており、温かみが出ています。どちらも、交流を大切にしている機関紙で読んでいて元気の出る紙面でした。

技術的には写真説明文を必ずつけて欲しい。より情報量を増やすことにもなります。

日本機関紙協会 白岩壽光事務局長

政令指定都市こぞって要望 年金の毎月支給 世界の常識・国民の声



定期化した厚労省交渉(正面左から、土志田神奈川委員長、杉山東京都委員長、富田本部委員長、加藤本部書記長)

「実施困難」一点張り厚労省 中央首都4都県が定期交渉

年金者組合は6月14日 7項目の「公的年金制度
午前、中央本部と首都圏 等に関する重点」要求を
4都県の代表27人が参加 提出、厚生労働省の担当
し、年金の毎月支給など 官6人と交渉しました。

交渉に先立ち、富田委
員長が交渉の趣旨を述
べ、要求書を手渡し、加藤
書記長が要求趣旨を説明
し、回答を求めました。

毎月支給問題では、
「実施に必要な13カ月予
算を要求しないのか」と
の質問に、省側は「実務
上実施困難であるので来
年度予算要求はできな
い」と回答しました。交

満身の怒りを
持つて断固抗議

●共謀罪に声明

「共謀罪」の強行採決
に断固として抗議する
本日、参議院本会議で
憲法思想信条・信教の
自由、集会・結社の自由

春の仲間づくり月間で奮闘

群馬が自主目標達成、大分で新支部

2017春の仲間づくり月間は、931支部というこれまで最高の自主目標を達成した群馬県本部を、はじめとする各都道府県本部、支部の奮闘で、組合員11万6521人の峰に到達しました。

また、支部では大分県本部で由布支部を結成し、さっそく1人の仲間を増やしています。これで、全国で奮闘しています。



宣伝行動中の宮嶋中執(左)

宮嶋中執がニューヨークで行動

6月15日から開催され

た核兵器禁止条約交渉会議に向けてのニューヨーク行動に、年金者組合から宮嶋博美中央執行委員が参加しました。

宮嶋中執は、全国の仲間から寄せられた「ヒバクシャ国際署名」の思いを受けて、国際フォーラムに出席し、ニューヨーク市民への署名・宣伝行動、豪雨についてのデモ行進を行うなど19日まで奮闘しました。

を確保するため」の決まり文句の回答に、「給付を減らし負担のみを増やすのは若い世代の不安もかきたてるものだ。今こそ、税制、財政、予算の見直しを抜本的に行え」と要求しました。

「無年金・低年金者に
対し、基礎年金の国庫負担分の一律支給」、「さらなる年金制度の改悪中止」、についても、後ろ向き
の回答に終始する省側に
「年金削減は経済にも

マイナス」になっていると指摘しました。さらに「特例水準の解消」を理由に年金の支給額を削減したことは、国連社会権規約の「後退禁止の原則」に反し、行政の裁量権の逸脱・濫用であることを指摘しました。

また、年金積立金運用で非人道兵器の「クラスター弾」製造企業など軍事企業への株式投資を除外するように強く要求しました。

自由党代表・小沢一等労働組合連絡協議会、
田忠智 沖縄の風代表・
糸数慶子 新日本医師協会、
会、全国商工団体連合会、
会、郵政産業労働者ユニオン、自交総連、
日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ
連帯委員会、全リカ連帯委員会、
国生活と健康を守る会連合会、
全国建設労働組合総連合、
由法曹団、日本自治体労働組合総連合、
全日本教職員組合、
国民の食糧と健康を守る
運動全国連絡会、
数労働組合連合会、
本婦人の会、消費税をなくす
全国の会、特殊法人
実行委員会

23回大会にメッセージを寄せた政党、団体

あかつき印刷株式会社、
平和・民主・革新の日本
をめぐす全国の会、
国民救済会中央本部、
日本民主機関連合
会、
全国保険医団体
連合会、
全国福祉保
育労働組合、
日本国
家公務員労働組合連
合会、
中央社会保障
推進協議会、
航空労
組連絡会、
全国生協
労働組合連合会、
婦
人民主クラブ、
日
本
人
民
主
ク
ラ
ブ、
日
本
婦
人
団
体
連
合
会、
日
本
高
齢
期
運
動
連
絡
会、
J
M
I
T
U
通
信
産
業
本
部、
全
労
連、
全
国
一
般
労
働
組
合、
第
63
回
日
本
母
親
大
会



強行採決させじと国会前に集まった仲間達

を根底からくつがえし、
国民を常時監視する「共
謀罪」法が、安倍自公政
権によって強行可決され
た。全日本年金者組合
は、多くの組合員が戦前
・戦中に生まれ、戦争の
悲惨と戦後の経済的困窮
を知り尽くしており、戦

争法の強行に続いて日本
を再び戦争する国づくり
へ突き進む安倍政権の独
裁的な暴挙に満身の怒り
を持って断固抗議する。

日本を二度と「戦争す
る国」にしないために、
市民と野党の共同のたた
かいを大きく発展させ、

安倍自公政権とその補完
勢力を少数に追い込み、
安倍政権を退陣させるた
め、
厳しい審判を下さなけれ
ばなりません。

2017年6月15日
全日本年金者組合 中央
執行委員長 富田浩康

石川康宏先生と行く 世代をつなぐ旅

原発事故被災地・福島4日間

- 9月5日(火)～8日(金)
- 49,600円(一般)
- 45,000円(学生)
- 定員40名様(最少25名様)

石川康宏先生

沖縄・辺野古に連帯! 基地はいらない

鳩山友紀夫さん、柳澤協三さん、伊波洋一さんらと出会い、交流する旅

- 9月28日(木)～10月1日(日) 4日間
- 羽田: 102,500円
- 中部・伊丹: 97,000円
- 定員80名様(最少30名様)

いづれも添乗員同行、空港諸税等別途詳しい旅行条件書をお送りしますので確認の上お申し込み下さい。

【お問合せ・申込先】 東京都知事登録旅行業 第3-6101号 株式会社タビーズ

TEL:03-5577-6300 FAX:03-5577-6310 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-3-1-302

[メール]info@tabisen-tsunagu.com [Web]http://tabisen-tsunagu.com

【企画・実施】株式会社タビーズ 観光庁長官登録旅行業 第1-1906号 東京都港区芝5丁目13-18いちこ三田ビル

今年2月の第12回中央執行委員会での「国際分野での活動強化」の方針に沿って、①日本の年金問題の変化・進展、特に「年金カット法」の内容とその問題点についてILO関係国際諸機関に報告する②年金者組合の運動の現状と到達を報告する③日本の社会保障要求の運動に対する援助・協力を要請することを目的に、5月19日からILO事務局/国連人権条約諸機関への第2次要請行動を実施しました。参加したのは、中央本部から田中諭副委員長、加藤益雄書記長など4人、東京都本部の杉山文一委員長、小澤満吉副委員長、大阪府本部の加納忠書記長の7人です。

日本の年金、組合の現状報告

社会保障運動への援助・協力要請

5月12日にILO事務局 P・ギルバート上席専門員と話し合いました。対応したエマニエル・

「日本政府は、ILO 102号条約に関連し

シリーズ年金 世界と日本

ILOの条約勧告適用 専門家委員会は、社会権規約委員会勧告を重視しています。

日本に関しては、健康で文化的な生活を送ることを検証すること、ILO条約の実施がどうなるのか重視します。ILOの基準がその判断の基となります。

アーバン・ステファン 社会保護局数理・統計専門官は次のようにのべました。「重要なのは政労使を中心とする社会的対話です。国民年金や雇用保険



ILO役員と懇談する調査団（田中諭副委員長、右、立っている人、加藤益雄書記長、いずれも当時）

健康で文化的な生活 送れる年金かを検証

などを含む社会保障制度などの中で、年金制度の①持続性、②安定性（年金額と掛金の問題）、③適用性（何%の人が適用

か、調整の仕組みはどうなったのか、受給者など

IL0としては、総合的、全体的な観点で見ま

報告書では、国に都合の悪いことは触れがりがり

たとえば柔軟性の高い制度でも年金額が不十分

また、掛金・保険料だけ

年金者何でも相談

「年金額改定通知書」が届きました。今年度の年金額改定の特徴はどういう点でしょうか。

A 年金額は毎年度、新規裁定者(68歳未満の者)は賃金(名目手取り賃金変動率)がマイナス1% (0.999)で改定されま

裁定者も物価を基準とします。2017年度の改定率を改定する率は0.999 (マイナス0.1%)となり、老齢基礎年金の改定率は前年度の改定率0.999×今年度の改定率0.999で0.998です。老齢基礎年金(満額)78万9000円に0.998を掛けた77万9300円、月額で6万4941円となり、年額で8000円、

「年金ニュース」のギマンを斬る

昨年12月に「年金ニュース」(政府広報・厚生労働省)が創刊号として発行され、全国各地の年金事務所はもとより、自治体等に置かれ、広く国民への宣伝、この「年金ニュース」の欺瞞を斬っていきます。



賃金上がる! 物価も上がる! 年金減らない?

国民の願いに応えぬ厚労省

過去10年間を振り返ると、カット法が適用されたとすると、実に5.2%の削減となり、厚生年金の場合、夫婦2人の標準モデル世帯(月額約22万1277円)で、年間約14万円の減額になり、国民年金は1人年間約4万円の減額になります。デフレでもインフレでも減額 さらに、「マクロ経済スライド」に「キャリアー

年金相談 毎週月・木の10時30分〜15時30分まで ☎03・5978・2751

(8月号に続く) (中央執行委員・増子 啓三)

馬の絵に平和の願い込めて

銀座で個展開いた 一戸義規さん(青森)

5月15日から20日まで、東京銀座の画廊「一戸庵」で「馬の絵展」が開かれました。なつかしの農村で働く馬、童話から抜け出してきたようなメルヘンチックな馬、大自然の中で遊ぶ馬、9の字を描く平和を守る馬、さまざまです。作者は馬常、本名は一戸義規さん、年金者組合の中央執行委員も務める仲間です。展覧会の一と時をお借りして、いろいろとお話をうかがいました。

「幼いころの農村風景を思い出すが、原点はそこではない。一戸さん、そうです。私は青森県南津軽郡の農馬と飛行機と太陽を描いてきました。」



一戸義規さん。左の絵は9匹の馬で第九条の9の文字を表現した一戸さんの作品「桜の国から九条の使者」

「子どもを思い出しています。一戸さんの絵は、少年時代の夢を描くのが大好きだったのでしょね。」

一戸さん 小学生のころから自分で絵を描き子ども会のネプタを作ってリヤカーに乗せて練り歩き、ご祝儀をもらうのが楽しみでした。一戸さん、少年時代の夢は画家になることでした。

一戸さん 東京に出て、絵の勉強をしたかったのですが、母が亡くなり、父も交通事故にあり、6人姉妹のたった一人の男が青森から離れるのは無理だとあきらめました。

30年近く絵筆は取らず組合活動

「なるほど、それで教師になられたのですか。一戸さん はい、弘前大学の教育学部に入り、美術教師の道を選びました。毎朝4時半に起きて馬の世話をし、乗るという馬術に熱中した4年間でした。一戸さん、それで無事に卒業して教師になられた。」

一戸さん 中学校の教師になったら、やることなくなってしまう。面白くないので、白そうに思えたのが就職員の組合の活動で、交渉や人との出会いがとても楽しかったですね。組合活動に熱中して、絵の方は30年近く子どもたちに教えるだけでした。一戸さん、どうして復活したのですか。一戸さん 息子が、私が昔使っていたイーゼルを見て「この汚いものは何だ」といったんです。子どもたちに、「絵は自己表現」と教えている教師が、自分は何も表現せず、息子がイーゼルも知らないようではまずい、と深く反省しました。50



歳になっていきましたが、もう一度絵筆を執ることにしました。さて、何を描こうかと考えたときに浮かんできたのが馬だったのです。馬を描けば自分を表現できると。一戸さん おじと一緒

に県内各地で個展を開いてきました。東京の予定はなかったのですが、後輩にすすめられ今回の展覧会になりました。一戸さん 28歳で青年部長になってからずっと

と青森県教組の役員をしてきました。年金者組合「桜の国から九条の使者」の絵は平和憲法を守ろうという呼びかけであり、私の決意でもありません。まだ65歳、さらに頑張っています。

「自分の絵の原点に戻ったのです。一戸さん おじと一緒

いこといいますと。一戸さん もう30年も続けているのですが、青森には核燃サイクルの問題があります。金ばかり食い、何の役にもたらず、もたらずのは放射能汚染の危険だけです。何としてもやめさせたい。また、青森でもいじめ自殺がありました。教職員組合、教育委員会、校長、教師、父母、様々な人たちと話し合い、いじめをなくしていきたい。この展覧会にも持ってきた

輝くなかま

若者に希望ある未来を

年金削減ストップの誓いを歌に

石川県本部 岩原 和子

「夢をいだこうよ!」という歌ができたいきさつは次の通りです。

私は昨年12月13、14日に、年金者組合石川県本部の女性部長、副委員長

として「年金カット法案」の審議傍聴で国会へ行きました。厚生労働委員会には100人の傍聴者が詰めかけていました。「今でも低年金で、貯蓄を削りながら

とて、「年金カット法案」の審議傍聴で国会へ行きました。厚生労働委員会には100人の傍聴者が詰めかけていました。「今でも低年金で、貯蓄を削りながら

どうにか生活しているのに、これ以上年金カットされないように……」と祈りつつ、傍聴

でも、強行採決。このような暴挙を許してはいけません。若者に希望ある未来を手渡すためにも、全国で歌える歌を作ろうと思いつきながら金沢に帰ってきました。

強行採決3日後の12月17日早朝、作曲家の藤村

記一郎先生にお願いし



岩原和子さん



「うたごえ」の仲間と練習

年金のうた「夢をいだこうよ!」ができました。この歌は前向きに年金削減ストップの誓いを込めた歌です。私は年金裁判の原告でもあります。年金者組合のうたごえの代表として、年金裁判口頭弁論前の行進や富山県の高齢者大会などで、この歌を広げてきました。11月の日本うたごえ祭典のステージで全国の仲間と歌い、年金裁判に勝利したいと思っています。

年金のうた

夢をいだこうよ!

(原詩：岩原和子 作詞：2016石川のうたごえ 創作合宿「年金グループ」 作曲：藤村記一郎)

1. 『安心な暮らしをかえしてほしい 希望の持てる未来を手わたそう あたりまえの暮らしを ささやかなしあわせを ささやかなしあわせを ゆめをいだこうよ ゆめをいだこうよ』
2. 『内練り返し 若い頃はピンピンだけど 老化現象 わたしも胃はきしみ 目はしょぼしょぼ 記憶はうすれて こんなはずではなかったと 年金!』
3. 『内練り返し 100年安心すく破たん 株価操作に使われて マクロ経済スライドで 気持ちにはしおられ こんなはずではなかったと 年金!』

みんなのひろば

支部長になり 3足の草鞋に

千葉市

伊藤 章夫75

これまで環境と平和の活動で2足の草鞋を履いていました。そこへ千葉市中央区支部長の仕事が増加され、3本足です。

先日、鹿児島県出水郡の農家の山口さんからデコポンとジャガイモをいただきました。福島調査

年金守るため 活動をしたい

香川・坂出市

吉田 智子60

今年3月に定年退職し、まだ年金を受給していませんが、せっかくなので年金額が上がるまで年金者組合に入会しました。

リーフを読んで、組合の運動によって年金支給日が2カ月ごとになったことを知りました。さらに毎月支給を要求していることも。

自分たちや若い人の年金を守るために活動したいと思います。



で知り合った方です。

これを独り占めにはできず、年金者組合員宅を自転車で回りお裾分けしました。これが新支部長の初仕事だと思えます。

山口さんありがとうございます。

仲間を増やし 政治変えよう

山梨・甲府市

保坂 勢津子74

支部ニュース「わくわく活き活き」に「春の仲間

間増やしで政治を変えよう」と訴えました。福祉を削り、戦争する国づくりを進める安倍政権を倒して、平和な日本を守りましょう。

署名活動でも がんばりたい

高知・南国市

片山 澄子76

このたび年金者組合の仲間入りをしました。微力ながらいまも民主商工会で活動しています。

種々の法案の改悪、特に年金制度の見直しを行っている安倍政権に立ち向かっていくために学習し、仲間増やし、署名でもがんばっていききたいと思えます。

玄界灘の海の 色ありありと

兵庫・宝塚市

石倉 祐美76

6歳上の姉と年に1回か2回会うと、終戦時の引き揚げ話になります。朝鮮に疎開した私たちが家族6人は4カ月で終戦を迎え、その年の10月に帰国しました。

わずかな家財道具は盗まれ、山口県のある漁港についたそうです。4人の子どもを連れて父は40歳、母が34歳でした。

10歳の姉は1歳の末弟を背負い、私と兄と手をつないで家族がバラバラにならないように必死だったそうです。

私の一枚

奥まった駿河湾
千本松など
静岡・富士市
望月 仁

沼津市香貫山から手前の狩野川黒瀬橋からここへ30分、橋からは尺ぐらいのボラなどが見えました。



滋賀・守山市 太田 多賀子

福岡・水巻町 江上 淑子

小さい船から見た玄界灘の冷たく激しい海の色は今もありありとよみがえります。

お茶の消費が 増えるように

静岡・藤枝市

松村 光隆78

今年天候不順のために新茶の収穫が大幅に遅れ、そのうえ収量も減りました。

それでも茶農家のみなさんは、無農薬であるとか、寒冷紗を活用するとかして、高品質のお茶を製造する工夫などで努力しています。

お茶の消費量の増大を願っています。

話がはずんだ 旅先の出会い

群馬・足利市

加藤 喜一75

旅先の「不老不死温泉」の宿で、あるご夫妻

と知り合いました。

年金者組合の話をする「私たちも組合員」と話されました。私は「支部の新聞を送ります」と約束し、送りました。

兵庫県三木市に住むご夫妻は中国人留学生を受け入れるなど、とても活動的なタイプです。

ちよくちよく旅に出ていますけど、年金者組合員に出会えたのは初めてです。

私も被爆二世
核廃絶に行動

静岡・磐田市

磯部 典子66

湖西市から豊橋市までの平和行進を1時間歩きました。

集会で沢田昭二さんが、核兵器禁止条約が成立した後、各国が批准し、核保有国とその同盟国を追いつけていくことで、今までにない新しい

国際情勢を切り開けるとの展望を話されました。

私は被爆二世でもあるので、静岡の仲間とともに平和行進を歩く仲間を増やす努力をしようと思いに誓いました。

気が付いたら
1万歩以上

奈良・生駒市

船越 郁83

仲間12人と馬美ヶ丘陵公園へ「道草ハイキング」。萌えたつ若葉が美しい林に入ると空気がかわるようでした。

ポランテアの方々が花の植え替えで汗を流しているなかを緑の空気を吸い、珍しい花を見ながら歩きました。

気が付いたら1万歩以上。でも真っ盛りのバラの花壇やあたり一面にそよポピーに疲れも感じず、笑い、おしゃべりを楽しみました。

北から南へ

値上げは痛い

北海道・北見市

石崎 恒秀65

はがきの10円値上げはわずかではありませんが、何かの事業で失敗したとの報道を目にしましたが、そのためでしょうか。

年金は下がるばかりで値上げは痛いです。

味噌を手作り

秋田市

加藤 和子66

「安心安全の味噌作り」は、元職場の労働組合が何十年もやっている行事です。

若い組合員さんとOBGの作業は1年ぶりの顔合わせ。6カ月後が楽しみです。

松を剪定する

群馬・伊勢崎市

宮崎 捷二75

松の剪定をパソコンの動画を何度もみてやってみました。

庭師に頼むと年金がとんでしまうので、自分でやったのですが足場に苦労しました。

全国を旅する

愛知・名古屋

吉川 千佳子67

旅行が趣味です。47都道府県に足を踏み入れました。

年金者しんぶんを読んでいると全国どこにも年金者組合の支部があり、活動していて心強いです。

安心の老後を

新潟市

鈴木 枝美子

この春定年退職し、年金者組合に加入しました。5月にはメンバーにも参加しました。安心の老後を迎えられようと思ったので、いきなりたいと思います。

ピアノを弾いて

滋賀・大津市

内山 悦子77

今日も60人の合唱団で歌ってました。退職後はピアノを弾いて歌うことが日課になっています。38年間の看護師生活がいまも役立っています。

ソラマメ収穫

香川・観音寺市

高井 和雄65

ソラマメが無事に収穫できたので妹やいとこに送りました。

これからは果菜類です。暑さが心配です。

安全な運転を

宮崎市

末吉 謙三郎70

車の運転免許更新で高齢者講習を受けました。自信がなかったのにドキドキでしたが、更新できました。

これからも安全に運転して楽しい生活を送りたいと思います。

旅



津城跡の藤堂高虎像と憩う人



では、町並みの基礎を造り津城を築き上げた藤堂高虎の、その像の傍で、ご近所風の高齢のお二人が憩う。津駅近くの聖



名物の蜂蜜まんを頬張る。地元のおばあちゃん「は一個買って小さな袋に入れてもらっていい。和む。ちなみにこちららは2個購入。皮に練り込んだ蜂蜜がふわっと広がる。中はこし餡。半球型の形もいい。

少し前に会った女性にこの蜂蜜まんを平治煎餅のお店を尋ねると嬉しそうに教えてくれた。津観音の位置も確認。

三重県市 伝統に寄り添う

津 地に根付いた味わい

通り商店街がまっすぐに延びている。営業帰りのしき男性たちが「ちょっと観音さんに」と境内に入って行った。

豊臣秀吉出陣の際に、祈願を怠らなかつたという観音寺に地元の人々が何の銜いもなく立ち寄り、商店街のベンチで世間話をする。



津観音・五重塔

津城跡のお城公園



平治煎餅、夏の「平治くん」



四天王寺、江戸期の山門

まう。謡曲「阿漕」でも知られる伝説だ。8月には平治盆供養もある。平治煎餅。素朴で美味だがちょっと哀しい味がする。

持駒 角桂桂香 一二三四五六



詰将棋

九段 西村一義

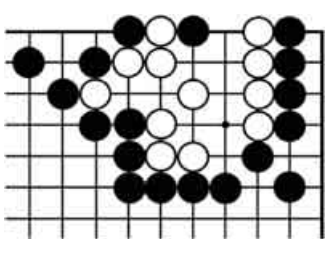
中級クラス

「ヒント」香が中心の攻めです。(10分で二段)

詰碁

九段 石樽郁郎

黒先「ヒント」白をタメツマリの鉢合わせにして仕留めます。(10分で二、三段以上)



らくらくパズル

〈第332回〉

普段は静かな街中も朝からにぎやかな声が響きます。カギで二重マスにあてはまる仮名文字をみつければ、A B C K Lの順に並べ、あることばにして下さい。(出題＝冒險王)

◎「ミ」のカギ

1、□□□クリーム、から裏切られた

17、□□□を飲まれた。信頼していた人

19、「いき」で□□□

21、海に生息する鳥

22、友人から□□寄った

24、舞台から客席の方

向に延びた役者が出入りする通路

◎タテのカギ

1、悲しい気持ちを表した歌。エレジー

2、□□□□長介。元「ザ・ドリフターズ」のリーダー

3、煙突掃除をしたら□□だらけになった

5、引越越して□□□としたものは一つ

22、友人から□□寄った

4、大相撲の力士の呼び名

7、胃の位置が異常に垂れ下がった状態

9、誰をかも知る人にせむ高砂の□□も昔の友ならなくに

10、お金の貸し□□は慎重に

11、英□□□カード。英語の暗記にずいぶ

12、香川・高松市にある源平合戦の古戦場

14、□□は海路の日和あり

17、□□□を飲まれた。信頼していた人

19、「いき」で□□□

21、海に生息する鳥

22、友人から□□寄った

24、舞台から客席の方

向に延びた役者が出入りする通路

◎タテのカギ

1、悲しい気持ちを表した歌。エレジー

2、□□□□長介。元「ザ・ドリフターズ」のリーダー

3、煙突掃除をしたら□□だらけになった

5、引越越して□□□としたものは一つ

な江戸っ子気質

21、海に生息する鳥

22、友人から□□寄った

24、舞台から客席の方

向に延びた役者が出入りする通路

◎タテのカギ

1、悲しい気持ちを表した歌。エレジー

2、□□□□長介。元「ザ・ドリフターズ」のリーダー

3、煙突掃除をしたら□□だらけになった

5、引越越して□□□としたものは一つ

22、友人から□□寄った

24、舞台から客席の方

向に延びた役者が出入りする通路

◎タテのカギ

1、悲しい気持ちを表した歌。エレジー

2、□□□□長介。元「ザ・ドリフターズ」のリーダー

3、煙突掃除をしたら□□だらけになった

5、引越越して□□□としたものは一つ

の箱に詰め込んだ

6、□□が来れば思い出すはるかな尾瀬

8、日本料理店の料理人は□□□□、西洋料理店はコック

13、代々同じ商売を続けている由緒正しい店

15、交渉ごとでは安易に□□□□を見せないもの

16、お金がないのでラーメン□□□で夕食を済ませた

18、朝な□□□□に便りを待っている

20、夕方の海面は油を流したような□□だった

22、友人から□□寄った

24、舞台から客席の方

向に延びた役者が出入りする通路

◎タテのカギ

1、悲しい気持ちを表した歌。エレジー

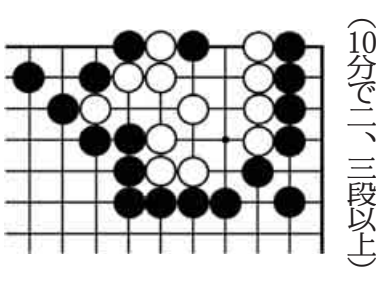
2、□□□□長介。元「ザ・ドリフターズ」のリーダー

3、煙突掃除をしたら□□だらけになった

5、引越越して□□□としたものは一つ

22、友人から□□寄った

24、舞台から客席の方



応募方法 解答 ハガキ(メールも可)。氏名・住所をお忘れなく。年齢・支部名もどうぞ。宛先 〒170-0005 東京都豊島区南

大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル「年金者しんぶん」パズル係。E-mail: honbu@nenki-nsha-u.org

締め切り 8月20日 消印有効

▽正解者の中から抽選

竹内タミ子(東京) 押切 昇(神奈川) 小林 義司(静岡) 小笠原淳子(愛知) 西澤 和枝(滋賀) 秦 保恵(京都) 村田 義朗(大阪) 櫻村美智子(大阪) 前川 昌藏(兵庫) 宮路 卓良(和歌山) 長尾三枝子(鳥取) 富田 俊朗(島根) 大西 麗子(香川) 岡崎 照子(福岡)

